七て式場南方上空より空の大分列式を行び経験を揮除。下志津兩飛行機校所屬の五十七段は銀駕を輝か

なるも、全崎組合銀行の貸出版で観し来れは我國の財界は

り得るか、更に前途に不安を

大切御伊敬龍 顔 麗はしく宮城に張柳遊筋くて十一時十分分列式を終り、陛下に

前九時二十分宮城御出門十時五分式場に着御玉座に着かせられた。斯くて木原諸兵指揮官の號令一下莊とおり軍製除の奏する輝兵式行進曲理に除伍室々展開する分列行進を玉座の御前に震然を嗣を立たせられて憫はせられた。大いで十時二十分より分列式に移り軍製除の奏する輝兵式行進曲理に除伍室々展に移り軍製除の奏する輝兵式行進曲理に除伍室々展に移り軍製除の奏する輝兵式行進曲理に除伍室々展に移り軍製除の奏する輝兵式行進曲理に除伍室々展に移り軍機行興校長廣瀬中野指揮の立川飛行第五聯除、所澤飛行県校長廣瀬中野指揮の立川飛行第五聯除、所澤飛行県校長版本の

世界經濟の動向と同

鮮満財界の前途

朝鮮銀行總裁

加藤敬三郎

て三線に配慮して徹底的に反して日本軍が河北省を攻突するものき制断し具を大体に終

一段第三線に、修養を用ふる ・ の第一線に備へ、 真脳輌を第 ・ の柱域を輸献機指揮に任

松のて既に他の制臓に於てる。

荒水瞳引。 奈是侍從 或官長。 是、軍會部長官轉代班澳中佐

触物等に

100 L

今年最初

戦備を愈よ進む

陛下親臨下に擧行

殿容を誇る、陸軍始

して完全を構築しその中に潜り込んである、これが為め住民の多くは遊離の傾向あるに軍飛行機の爆撃に出鼻を挫がれ土氣頓に沮喪し民家門の宿餐を危險戦し住民を張制徴せあり土人の書によれば上官は更に前進すべく命令して居るが共卒選は何れも前日の日本局の第十九歳は目下北章雙子一帶に第三十歳は乾滯鎖附近に、第十六歳は双山子一帶に「山海闖八日國漢今村特派員息」 綏中遼西方面を牽制の目的を以て熱河に進入した県良直「山海闖八日國漢今村特派員息」 綏中遼西方面を牽制の目的を以て熱河に進入した県良直

使して當地方で日本軍が防禦するのでなく進出して日本軍ご決戦するのみだから安心

豪語し土人を道案内さして偵察しつつある

長城をも て國境となし 害を許さ

留をなすべく三大原則による方針を決定した右に関し場所調政府に於ては 左の見地に基言對熱河問題の虚かに識別級の提覧を企圖しつもある事實あり 領域たる熱河省境 に緑々集中せしめ一部は既に省内に侵入密湖の空気を喚起せんさしてゐる即も張學良は正規軍を講洲國的態度を以て臨み居るに對し 支那側は写ろ此れを利用して反的態度を以て臨み居るに對し 支那側は写ろ此れを利用して反

に於ける主權を絕對的に主張するもの滿洲國は長城を以つて境とする其領域

に對しては政府は東洋平和のためさきに一、新國家の獨立性を侵害する行為の排除で新國家の獨立性を侵害する行為の排除の民於ける主權を絕對的に主張するもの 締結したる日 本政府との諸定書に基さ日

ものである

によつて分れるさの に叙上の三大原則を明 に叙上の三大原則を明示したる以上問題は支那側の態度如何使つて瀟洲祕側に於ては問題の悪化其の他責任に騙しては旣 観測を下 してるる

兵を弥襲其他某國より購入し 我國の行動

遼中

方面で

決戦

學良正規軍の豪語

「山海側八日酸酸弧」當地我特備線は七日山海側託在の美術線を説明するこささなり落合守線線を説明するこささなり落合守線線を説明するこささなり落合守線線をは事件の疑と事件の疑と事件の疑と事件の要とは事件書特山海側に時住せる者にして事件が支那軍の挑戦に時住せる者にして事件が支那軍の挑戦に時往せる者にして事件が支那軍の挑戦という。 お事件書時山海側に時住せる者にして事件が支那軍の挑戦とは事件書時山海側に時往せる者にして事件が支那軍の挑戦という。

型二日代表を夾心子に減し五日 飯塚芝隊長を經て廣潮〇團長 に正式に歸順を申し出たこれ がため版湖〇副長は飛行機を

のる。関京政府も提興良を後 がは場の直屬 - 馮軍、低勇軍 がは場の直屬 - 馮軍、低勇軍 がは場の直屬 - 馮軍、低勇軍 がは事の総勢

落合隊長事件を語る 士 (2) 名 年 四

に對し暫く現駐地に在つて誠意を示し日本軍の何分の命令を持つさ同時に有力なる代表を派して瞬間の正式交渉を閉めているであるである。

ポグラ進入

竹本支隊

せよど勧告した

土德林部下

竹本支線は及に血ぬらずして れ日ボブララ速人し観問令以 下二千五百の兵員の武装を解 除した、鹵獲した兵器の主な るものは田砲四門、迫撃砲二 門、機輔銃、小銃一千三百三 十八である。ボグラの市内は 権めて平穏にして清輝委員一 行も七日の射針着する側定で

交渉對手は何柱國だ

大の御儀は八日代々木練兵切で 大元帥陛下の臨野を仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された、時れの観兵式に参加するを仰ぎ駿かに単行された。時れの観兵式に参加する

右大臣大久保利通公の二男、文久元年生れの七十三歳、 国内大臣に任ぜられ現内大臣の重職を拜す、岡碁を好み 国本棋院の總裁である。

個東軍でやるか目下指示を 渉は天津軍で取るか若くは

方法を譯じつてある。今や皇心雅及者には施米其他の教習と雅及者には施米其他の教習の連絡の下に 軍の恩威を衛洲國の王道政治

列國武官も認む ・ ・ は石河地方に応浸潤して早く ・ は石河地方に応浸潤して早く

安協提示說 否認す

式歸順申込

飯塚支隊長を通じ

廣瀨〇團長の手許に

我が外務省

で開順の歌を有つて 丁超は豫

王徳林はなは東寧にあるも耶

歸順の噂

ずに渡んだし刄に血塗らず れば事件をこんなに擴大せ何柱臓が山海臓に居るへす

王道政治 石河门 以東地區に満洲

皇軍の恩威治く

(山崎間の選今村特派目後) 協州より來願した宣傳員宣撫 協州より來願した宣傳員宣撫 人心の安定に努め協洲認の資体 を宣傳しつくわる、城内には 六日楊潤霖を委員長ごする山 施爾地方治安維持委員智が組 **少態度で強きれた** 有再開の際は能よ **決議案
言理由番に** し、休會明け平九ヶ嗣委員 リンドレー氏は節

のさころ明待出來ねさ 的見地から勧請し し、体よるが如き提案を英 内容には全然腰れ たがその なかつた 間し首及 「第二

一件發生で秦島島宮部八婦女子五十七名は浅透殿三郎氏引率し七日午後二時秦島島宮部八婦女子五十七名は浅透殿三郎氏引率九で八日午前八時者運し市後に返へるまで常分滞在の管で市役所にて萬端の世話で全部海豚で市役所にて萬端の世話をしてるる肉怪避難氏は内地人二大の名の保避難氏は方の地人二大の名の保護を表している。群人三十三名内子供九

で、高参事官赴任 で、京八日投戦過)新任米國 大使館参事官武富敏彦氏は十 九日午後三時横濱貴淺間丸で 赴任の警である

後退させ得る自 職である。 に至った以 を失せねば を失せねば

上 皇家の成代を失せねばに強硬なる態度をごらねばい事は勿論である。 何れにしても今回の戦闘である。 おしかつた」

國參加の氣運著し に瞬し外務常局は左の通り否 に瞬し外務常局は左の通り否

秦皇島避難婦女子 **中朝大連に着く**

敗殘兵六百

突如満鐵本線を襲ふ

重大視されてゐる

駐日露大使

後任內定

超遂に屈り (事天八日健國語) 昨七日午 後力時半頃講臘本線十山縣附近の皇泉屯王全一の敗残兵約 大百蜂起し附近の民家を掠奪 放火し沿線に出る形勢がある ので海域よりは直ちに装甲列 車出動して一時間に亘り受戦 之を撃退したが、敵の損害は なほ不明である

年 交通部總 頭

所

感

低に堪へるる所なり に強設の見るへきものなく感 に建設の見るへきものなく感 長

奈沙にあるか買に星関時代其 明賊を蜂起せしめたるは其故 ・ す却で人氏をして困窮に陥れ ・ で数百年来之れが埋轍を酸か

間く 頭で是軍歌迎の聲を到る處で の間係も頗る圓 察山支除は五日午前八時頭道 戦す 密山支隊看

(語る

は空しく魔朽に至らしむのみ は空しく魔朽に至らしむのみ 電工業の健選等教んと交通の 程度に使り左右せられさるも のあらんや
ひて我か任さし専念事に從は
んさするものなり邦人君子裏
くは較示を賜はり度然らは余

の開展にあり若し交通

謹尙た曙

各

候也は付領や電店と 器 3 日日日 店

電光溢るる新春をお迎ひさせて頂きました事を心からお喜び申上ます 値而御願ひ申上ます が高三を可三丁目 に事を心からお喜び申上ます

松田洋报店

き急ハト お待ち兼ねの澤庵が本年は殊の外味も色も大變良く漬りました。 一、正味一七貫入 大樽 金八圓也一、正味一七貫入 大樽 金八圓也一、正味一七貫入 大樽 金多圓也一、正味一七貫入 小樽 金多圓也 京九時急行營業 同同卷一人前二十錢の下壽可一人前三十錢

つた

事往來

宅牧 A 番場

【話三八四六番 駅町二丁目三ノ三

▲藤田語郎は(天津病院長) 七日午前九時三十分ハルビ 七日午前九時三十分ハルビ ・ 本様様氏(民政部次長)七日午 を三時三十元分來尽

め、日根を合くの相位存 本流融の特定物は、近頃大連港に蝟集されると同様に集中されてそれで、 質易は近年歌の外野軸につまめる結果、 質易は近年歌の外野軸につまめる。 試に本邦對議所貿易の時を動すれば、 2000年一月之の統計 を数すれば、 2000年の外野軸につまめる。 は、 2000年のの 2000年の

千萬圓で前年同初に比し。三十萬圓を増加し、輪移入は二十萬圓を増加し、輪移入は二十萬圓を増加し、輪移入は二十萬圓を増加を示し、 ・ の四千三萬圓の増加を示し、 ・ の四千三萬圓の増加を示し、 ・ の四千三萬圓の増加を示し、 ・ の四千三萬圓の増加を示し、 ・ っの受渉は各方面共 は注目すへき現象にして。 溺 出き朝鮮さの受渉は各方面共

海で着います(フィー) なるも、全は組合銀行の貸出 は昨年十一月末に於て後年間 明に比し却で一億二千萬圓の が減を示し生産方順か尚充分 さを推知せられ、而も終近本 であれ、而も終近本

果、最近少しく好轉の兆を結果、最近少しく好轉の兆を結 の朝鮮貿易は絵科出か二億六 福州調の最適見越等につまあるか此後北鮮のつまあるか此後北鮮の **へく、従て鮮 順程度**

間は強に排出の行動を縮い、 は海に遺憾さする所である。 は海に遺憾さする所である。 は海に遺憾さする所である。

ケ六族の原体

共に強 すごい、黄金の間 様式に発き た張を取戻して下されて耳筋

作可でA 三浜棟から

をなったまれるを指した。

の計費の所属さえられてゐる の計費の所属さえられてゐる なる雙幅の目をかすめ我。伐 により自薬的さなれる敗残兵 により自薬的さなれる敗残兵 吉津副領事歸任 市津副領事歸任 の場暇掃朝中なりしが、本八 の場暇掃朝中なりしが、本八 の場暇掃朝中なりしが、本八 「東京八日後頭頭」 駐日 大使トロヤノフスキー氏 月十三日韓國政府では現す トリー公便ユンチフ氏を するに内定し我政府にアン するに内定し我政府にアン するに内定し我政府にアン も異額は無いので近く腹 に式決定の害である

牛の歳末費上高三萬五千囲

拓大乘出す

二百五万九元 壹天三登写苑 人人人人人人

左の如き続くべき歌を示して は大晦日夜から大日迄の丸六 は大晦日夜から大日迄の丸六

の兩氏

四中隊の○○名さ昨七日午後─な歓迎援で秩父宮興代理閩田は師調司令部野砲第二聯隊第─旋をした。夜奈晴あて熱莊的「東京八日稜越遊」多門將軍─八時二十分品川輝者。晴の伽

数で身動き出来す。多門中

さ共に土地係を巡つて共犯者を續々檢學するに至る模様である と共に土地係を巡つて共犯者を續々檢學するに至る模様である と共に土地係を巡つて共犯者を續々檢學するに至る模様である は、今江檢事々務取扱の手で嚴重取闕を續りられてゐる は、今江檢事々務取扱の手で嚴重取闕を續りられてゐる 前新京日報編輯長泉廉治の詐欺私印私文書僞造串件は益々擴大し、同氏に關聯した 前新京日報編輯長泉廉治の詐欺私印私文書僞造串件は益々擴大し、同氏に關聯した 前新京日報編輯長泉廉治の詐欺私印私文書僞造串件は益々擴大し、同氏に關聯した

年の景氣は 東に乗つ

素晴しい新京驛の客新京の活況を如實に示す

会決(司) 空 三回順 本版客收入は ビデ 六0回側 本荷物收入は ビデ 六0回側 本荷物收入 一 空間八畳間 から地理不便なも現在 から地理不便なも現在 本語をあやつり得るに至る事と可き短時日の中に流暢な日を記述の端州観青年の如き鷲

ルンペン

此頃日頃の

歳末大賣出しに反映 長以下八名を講師さし約十名研究を志せる少壯等徒市川所 新京署へ賴る八十年前十時頃年の頃二十七八才位の青年が新京署を訪れ八才位の青年が新京署を訪れてるた、本年最初のルンペンかあつた、右は金田養雄(二八) == 假名で七日東京から 電地の某朝鮮人を領つて東京

南滿三角地帶 平定の殊勳者

に協場の飛行場に自動車で迎 と見るこかさい子供が二人居る 支見のたが議別人が三人居る 支見のたが議別人が三人居る で見るこかさい子供が二人居る に小さい、話か分らかしら類 りなかつた「おい君は何年生 から遠隔に装験するから、た れか飛行機に迎へに来る様に かの飛行機に迎へに来る様に かの最いであるかけて長れ僕の であるか積む」「分ります」

は自動車も何も楽で居らない 大張り子供は除り小さかつた 見るさ一臺の自動車が走つて 見るさ一臺の自動車が走つて 居る、ほつさして着陸した。 悪兵分除長は「サイドカー」を 飛ばして飛行機の側に来た協 動の自動車も楽で呉れた、然 し木下中尉をかつぎ出して見 たかさ思つた。木下中尉は優 たかさ思つた。木下中尉は優 たかさ思つた。木下中尉は優 たかさ思つた。木下中尉は優 たかさ思つた。木下中尉は優 たがさ思つた。木下中尉は優

勇敢無比の木下兄弟

易宿泊所の斡旋を得一先づ落 第にある金田の友人連多数 6 新京行を希望してあるそうで あるから今後の保安様は多種 お手傳ひの 忙しかつた新京局

を育てあけ、年頃 から英間を黄ひ受は から英間を黄ひ受は がら英間を黄ひ受は がら英間を黄ひ受は で、高額の四 つつの時に

て議門親家を政行する双語

輪の都一参を誘出したが。更 を繋びし既較の電域子線支扇 を繋びし既較の電域子線支扇 を繋びしませいで域子線支扇

四平街の 出

奴事四井君江は昨年十一月世京日本語・松島穰抱へ羇妓妻

病院を抜け出しる

値17万を ・単電力時

それが、行方は沓さして分られる。 とれが、行方は沓さしてかられては塩

以下は大き様の様し合せてで飲酒して居たが具後の足

勝ちンーやい込んだものこ

(四年街支助程) 恒例に依る 原に於て様子梁の妙技を演じ 競士時より市内行進に始り各 競士をアフさいはせ午後二時 職前機場に於て能呼官服島署 長の人員點呼器具の監検訓示 あり模擬火災消火流習に移り あり模擬火災消火流習に移り

をなく思ひ除った大約線の一 をなく思ひ除つた大約線の一 をなく思ひ除つた大約線の一 をなく思ひ除つた大約線の一 でである路路でないほ就 「四平街支易禄」グレート四本街を目指してぐん () さ伸 本籍を目指してぐん () さ伸 本籍を目指してぐん () さ伸 本籍を目指してぐん () さ中 本籍を目指してぐん () さや エート四本 () では () がらい () が 成つた人々が五十三名あつた五十三名又帰國を後に最後ま 四平街。

[四平街支船務] 蔣年来より 所開所期

休所中であつた四平街青年訓練を

郵便局員歸

間選れて確常する確定である になる人数は不必要の為四十五 名は七日午後十時酸の列車で 名は七日午後十時酸の列車で 名は七日午後十時酸の列車で

「四平街支局登」二十二日の 金満戸サデーに常市では例年 か単生のみの傾向かあつたが は回は小様生を中心に全市民 に且つての戸州デーミする社 四平街戸外デー 取つたさって、相常羽振りを にもない速いこころ、「台南の 名花千代春のゆくへ」 云々こ も本乗つて新泉にゐるここが

する目標の大都市 する目標の大都市 する目標の大都市

ビスに編へやうさしてゐる 中中二回であつた陰時列車を

喚に難じ出頭して保護脚なきなっけたら機らかモノになるをつけたら機らかモノになるをつけたら機らかモノになるのがら順京署の円を受けたら機らかモノになるをつけたら機らかモノになるをつけたら機らかで乗たのがよりには、 のでは、保護脚を送って来たり、再龍の生

及び新首都を包含するパス網網総新京支社では附属地域内

てその第一切計論さ

着々擴張計畫

満電のバス

にあぶられて東京果は登録、 これで周围の漠然たる領洲熱 でて来る人々「働くなら新 インフレ最級に乗つない副別的な衣替を

出るさ云ム たロートル たロートル

十六日から太子堂で 痘が流行 を受けなさい 臨時種痘を行ふ

だ種痘を受けれ者(但し生後 た者等)は一人漏れな(受けた者等)は一人漏れな(受けない。 以内に種痘した事のない者 は、又行つた種痘が不等感であつ は、又行った種痘が不等感であっ た者等)は一人漏れな(受け

數奇なる運命に 弄る~曙の萬龍 **弁後一時から三時范太子堂に** いき殊勝な心程に朋策や抱主

惜しくなって保護願ひ沙汰 家鴨のやりな生みの親から 今迄暮して米、第一萬龍はお は かんちゅい 、 母娘水入らずに は

で左接・

趣解南牟

視察來満者の為

六臨時列車を運轉

満鐵の乘客サービス

事生永井寛維君外四名の一行 率仕的慰問の旅にある立教大 候議演ご映画の會を催した 立大生の講演會

うに思いれるのが心外だこ云 思つてゐたくらひであり、お くにさんは。自分の懲心から 娘を襲者稼業をさせてゐるや 育ての親が戀しくなつかしい子供をよそにくれるやうな親 の親でも自分の腹をいためた つて泣き、萬間はたさへ生み

運命ではある。 其節では前の一つの話題であるうが数奇な も感心してあるさっで みの親の保護閣は却下した言頭り萬間親娘の陳述を聴き生 長春洋火工

敷の猪料理

製の連中は舌鼓を打つこごで

北 平棧の 首、裸体、口 怪 ルの

り無パス車臺仕当棚を新造し で域内の中央を消滅する事でな で域内の中央を消滅する四馬

ある。なほ同社では新國都建 しからぬモダーンなパスを総 しからぬモダーンなパスを総

金州自園產澤庵。

の御奉仕

側部建設地を統一聯絡せしめ一個を擴大し附屬地域内並に新設の進捗で共广各将線路パス

「たくあん」です舊年の御愛食を謝し大同二

自園産の味本位から

年を祝福する爲年頭の御奉仕を致します

『五百樽を限り

パス網の完度を削しての側部建設地を統一場格せ

母がパット描った、最 切の中は誰も氣がつか なかつたが十日ばかり もあのぞつこする汚寒 に次いで音もなく現は に次いで音もなく現は 三通りのお化けが出る

に建てられ、

徴なは暗

旅沼中庭の中央に北向

一つご云よ様に連樹的

まつた、問題の家は同まつた、問題の家は同れて奉天へ引揚けてしめて奉天へ引揚けてし

十一日當市議院俱樂部に於て精所主催の荒川姉妹舞踊會は 吉川姉妹舞踊會

十樽以上の御注文は別に御相談に應じます

新京大馬路五馬路角

一樽に付七圓八十銭」

名強けて愈よ近く勇退すること係勁紡麟本富雄氏は功成りは保助紡職本富雄氏は功成り 民の称『に供する答 直開は小學生に夜間は一般市 藤本司法係勇退

直 賣 所

新京に印刷工塲を設けました

電話三七八六番

會

近澤洋行印

新京入船町二丁日一七

の離任を惜んで居る 氏のこまきて一般此の良管官 こさなったが内外に信望弟き なるであらうさ 信ほ氏の雌四は二月初旬さ

ごんなこさがあつても離れな

言いは七日死去九日午後 三時瞬町大正寺で郷権が執行 佐藤家の不幸 廠佐縣精一氏令寶

種

紙創明治四十四年

朝

鮮工場

京城市最谷川町七県 本部 二二七五・二一七九 一九〇七番

紙創大 さ 正 印 七

刷集年

哈爾賓工塲

埠贸温中配十四董县 四二八七番 三七八四番

宴會用大廣間の完成

(北門外) 料亭

新

富

市内三笠町の制豪店藪虎では中年もまた、長中山産の猪を中もまた、長中山産の猪を助るさ、猪もあまり年を優た奴は肉が硬いが今年取寄せたのは業猪できり輸送強い凍結したのを自然融解を待つて庖したのを自然融解を待つて庖したのを自然融解を持つて良い。

客室の改造ご

兄太郎、春枝、榮、春八人枝(義太夫) 正千代、郡 春千代

典町葉、

小旗、

小浪校、

春照

型上八六

本内に教授致す考への職常地官廳の正式指令無き為教授庚年内に教授致す考への職常地官廳の正式指令無き為教授庚年内に教授致す考への職常地官廳の正式指令無き為教授庚年内に教授致す考への職常地官廳の正式指令無き為教授庚年カナップを対します。正式許可あり次第轉数授申上ける考へに付惠しから申詢了派下さい ・ 本タサップを手動を授申上ける考へに ・ 大連市等権制報座。り ・ 中タサップを手動を授申上ける考へに ・ 大連市等権制報座。り すでは、何卒宜敷御引立の程御顧申上ま換氣、何れも皆様の御禰足を得る事と存換氣、何れも皆様の御禰足を得る事と存換気、何れる皆様の御禰足を得る事と存

新京三笠町三丁目 O 山 旅 館

全世界話題の焦點注視 世 よソヴェート ロシアの五ケ年計畫

ヴェー 問 0 聯邦政府製作・ア 畵 大会開発を開発された。大会開発は 人類の建設的努力の偉大なる結晶 ムキノ コーボレーション提供・

五,年計畫

ソヴート B シアの

人も知る大デューマ原作に成る憧憬篇● 佛國ルイナル パ映画・

巖窟王 劇を構成して行くは全フランスの名後罪を原作 アンリンフエスクール氏原作 アレキサンドル デユーマ氏 金三十錢

期待外しき

公開塩 春 接一新京都映画品

ヴィタミンA及D

0

日

含

有

郭

大阪市浪速區木 河町一丁目

(此の新聞名必ず記入の事)

本をこの新聞名記入二銭切本をこの新聞名記入二銭切

割れたましても一年二年は大丈夫保つ

な短邊を速痔(時性のスペリー

大阪日本橋五●小西光澤堂本店

有全國時計店、百貨店

ふしあはせな

子寶なく淋しく味氣なき御夫婦へたやすく子寶のえられる方法と永い間の歴史と事質の上に立い間の歴史と事質の上に立

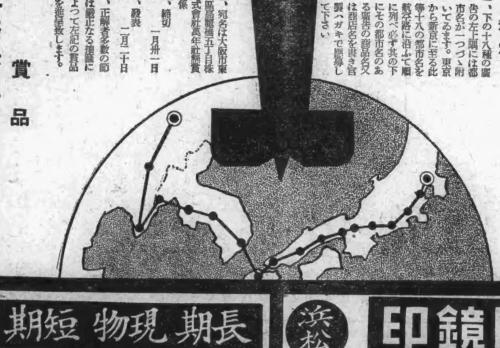
五、正解者多数の節は最上なる抽籤によって左記の質品 四、發表 セーラー萬年筆 レット 五二一

名名名

翻客本位

多少に係らず側 信用第一

確實便宜



株はどう動くか

病虚

氣弱

豫保

防健

12 12

式羅針 針

プ

ペンシル付水晶認印

規定

大連 我々八千萬同胞は振つて應募しませう。 南國の提携が今後益々緊密ならん事を翼う 南國の提携が今後益々緊密ならん事を翼う 堺市 河文酱油株式 第



軍手製造を奬

む





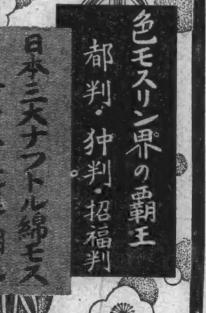
とて一日分の

金三夫で得ら 業業業が僅か







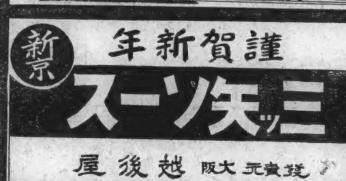




特專

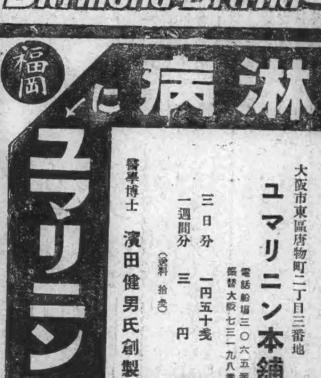
許賣

は偽造さ 四分丸三寸丈クリップ付 山梨水晶株式會社 れぬ 本革特製サラタ入 實水 印晶 水晶印 金一円 一円



阪大 元壹 芝

賣特大でに段値卸底最の入仕量大



Ξ

一円五十美

取 營業案內進呈

大株一艘取引員 大阪市北浜一丁目





